MA1008-A

CASIO

P

3165・3251＊ JA

取扱説明書

保証書付

3165・3251

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

時刻・カレンダーの修正 …… 23

タイマー …… 16

ストップウオッチ …… 18

アラーム …… 19

デュアルタイム …… 21

表示照明用ライト点灯 ……8

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



⚠注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

安全上のご注意 1

操作のしくみと表示の見方 6

表示照明用ライト点灯について 8

操作音について 8
- 操作音の ON／OFF 設定 …… 8

液晶表示について 9

デモ表示について 9

本機の「視覚的な演出」について 10
- 時刻モードの「表示パターン」 …… 10
- アニメーション …… 13
- その他 …… 13

時刻モードの「時刻表現」について 14

タイマーの使い方 16
- タイマー時間のセット …… 16
- タイマーの使い方（減算計測のしかた） …… 16
- タイムアップになると …… 17
- 鳴っている電子音を止めるには …… 17

ストップウオッチの使い方 18
- 計測のしかた …… 18

アラームの使い方 19
- アラーム時刻のセット …… 19
- アラームの ON／OFF 設定 …… 20
- 鳴っている電子音を止めるには …… 20
- アラーム音（電子音）を試聴する …… 20

デュアルタイムの合わせ方 21
- デュアルタイムの合わせ方 …… 21

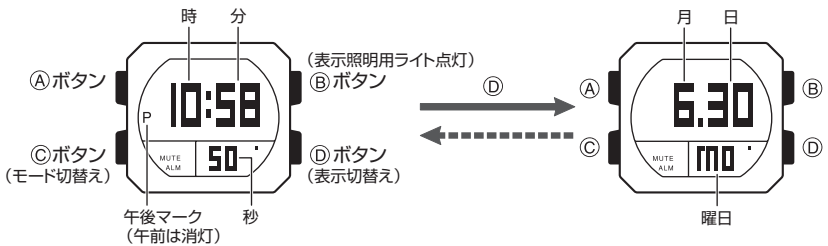
時刻・カレンダーの合わせ方 23
- 「秒」合わせ …… 23
- 「時刻・カレンダー」合わせ …… 24

製品仕様 …… 26
ご使用上の注意 …… 30
お手入れについて …… 33
電池交換について …… 34
金属バンドの駒詰めについて …… 34

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
※アラームモードのまま２～３分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードになります。

時刻モード

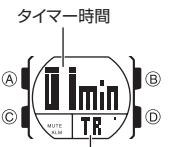


★「月・日・曜日」の確認
Ⓓボタンを押すと、「時・分・秒」が「月・日・曜日」に切り替わった後、約１秒で「時・分・秒」に戻ります。

★曜日の見方
SU：日　MO：月　TU：火　WE：水　TH：木　FR：金　SA：土

※表示に関するその他の説明は、9～10ページをご覧ください。

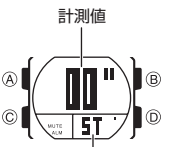
タイマーモード



P-16

Ⓒ

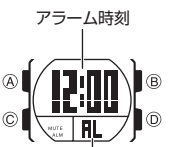
ストップウオッチモード



P-18

Ⓒ

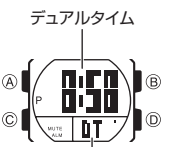
アラームモード



P-19

Ⓒ

デュアルタイムモード



P-21

Ⓒ

表示照明用ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑボタンを押すと、表示照明用ライトが点灯します（約1.5秒間）。



■ご注意■

- ●直射日光下では、表示照明用ライト点灯が見えにくくなります。
- ●表示照明用ライト点灯中にⒷボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどの電子音が鳴ると、点灯を中断します。

操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音のON／OFFを切り替えることができます。

■操作音の ON ／ OFF 設定

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

Ⓒボタンを約3秒間押し続けます



MUTEマーク

➡確認音が鳴り、操作音のON／OFFが切り替わります。

※操作音を OFF にしているときは、MUTEマークが点灯します。

※操作音がOFFでも、アラーム音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。

※この操作を行なうと、モードが切り替わってしまいます。操作終了後に、Ⓒボタンを押して使用するモードに切り替えてください。

液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。
なお、本書に記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。ご使用になる製品によっては、本書に記載しているイラストの黒い部分（「時刻」、「機能がONになっているときに点灯するインジケーターやマーク」など）が、「白または他の色で表示される」と置き換えてご覧ください。

※液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。

<Aタイプ>



<Bタイプ>



デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。
デモ表示では自動的に表示内容が切り替わります。

※デモ表示中は、「表示照明用ライトの点灯」（8ページ参照）だけが行なえます。



●デモ表示の解除

Ⓐ、Ⓒ、Ⓓのうち、どれか1つのボタンを押します。

●デモ表示の設定

時刻モードの「セット中（表示点滅）以外」のとき、Ⓑボタンと Ⓓ ボタンを同時に約2秒間押し続けます。

本機の「視覚的な演出」について

本機では、表示パターンを変えたり、表示照明用ライトを点滅させるなどの視覚的な演出を行なうことができます。色々な演出を、お楽しみください。
なお、本機の演出には、ご使用になる方が「お好みに応じて選べるもの」と「選べないもの」があります。ご注意ください。

■時刻モードの「表示パターン」

本機の時刻モードには、下記の５つの表示パターンがあり、その中から用途にあわせて選ぶことができます。
また、「本機を身に着けている間に、表示パターンが自動的に切り替わる」ように設定することもできます。
なお、この設定になっているときだけに表示される「特別な表示パターン」があります。
「特別な表示パターン」になる条件は？？？…お楽しみに。

<パターン1>



<パターン2>



<パターン3>



<パターン4>



<パターン5>



●表示パターンを自分で選ぶ

1. 時刻モードにする

6ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、時刻モードにします



2. 「ACT」の設定を確認する

表示パターンを自分で選ぶときは、「ACT」の設定を「OF（OFF）」にします。

「ACT」の設定が「OF（OFF）」になっているときは、ACT ONマークが消灯しています。



ACT ONマーク

➡ ACT ON マークが点灯しているときは、手順３に進んでください。

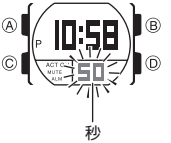
➡ ACT ON マークが消灯しているときは、手順６に進んでください。

3. セット状態にする

Ⓐボタンを約1秒間押し続けます

➡ 秒が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



秒

4. 「ACT」の設定を「OF（OFF）」にする

Ⓒ ボタンを７回押します



Ⓓボタンを押して、「OF」を選びます



➡ Ⓓボタンを押すごとにon（ON）とOF（OFF）が切り替わります。

5. セット状態を解除する

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まります。

6. 表示パターンを選ぶ

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに表示パターンが切り替わります。



●表示パターンが自動的に切り替わるように設定する

1. 時刻モードにする

6ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、時刻モードにします



2. 「ACT」の設定を確認する

表示パターンが自動的に切り替わるように設定するときは、「ACT」の設定を「on（ON）」にします。

「ACT」の設定が「on（ON）」になっているときは、ACT ONマークが点灯しています。

＜「ACT」の設定が「on（ON）」のときの表示＞



➡ACT ONマークが点灯しているときは、操作の必要はありません。

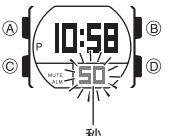
➡ACT ONマークが消灯しているときは、手順３に進んでください。

3. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

➡秒が点滅します。

※ セット状態で2〜3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



4. 「ACT」の設定を「on（ON）」にする

Ⓒ ボタンを7回押します



Ⓓ ボタンを押して、「on」を選びます

➡Ⓓボタンを押すごとにon（ON）とOF（OFF）が切り替わります。



5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

■アニメーション

「モードを切り替えたとき」や「時刻表示中」などに、アニメーションが表示されます。
なお、このアニメーションは、「表示させる／表示させない」の切替えはできません。

■その他

「時刻を見ようと時計を傾けたとき」に、表示が変化したりすることがあります。
なお、この演出は、「行なう／行なわない」の切替えはできません。

時刻モードの「時刻表現」について

本機の時刻モードには、いくつかの時刻表現があり、用途にあわせて選ぶことができます。

《12 時間制（12～11)》
正子（午前零時）を起点にして 12 時間制で表現します。正子（午前零時）を「12」で、正午（昼の12時）を「PM12」で表わします。

《24 時間制（0～23)》
正子（午前零時）を起点にして 24 時間制で表現します。正子（午前零時）を「0」で、午後 11 時を「23」で表わします。

《30 時間制（6～29)》
午前 6 時を起点にして 30 時間制で表現します。午前 6 時を「6」で、正子（午前零時）を「24」で、午前 5 時を「29」で表わします。
なお、日付は、午前 6 時に切り替わります。

《12 時間制（0～11)》
正子（午前零時）を起点にして 12 時間制で表現します。正子（午前零時）を「0」で、正午（昼の 12 時）を「PM0」で表わします。

●時刻表現を選ぶ

1. 時刻モードにする

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、時刻モードにします



2. セット状態にする

Ⓐボタンを約1秒間押し続けます



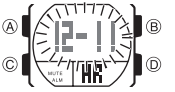
➡秒が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

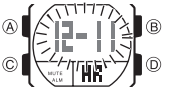
※ この操作を行なうと、「表示パターン」が切り替わってしまう場合があります。
操作終了後に、Ⓐ ボタンを押して使用する「表示パターン」に切り替えてください。

3. 「時刻表現」を選ぶ

Ⓒ ボタンを３回押します



Ⓓ ボタンを押して、「時刻表現」を選びます



➠ Ⓓボタンを押すごとに「時刻表現」が切り替わります。

12-11：12時間制（12～11／PM12～PM11）
0-23　：24時間制（0～23）
6-29　：30時間制（6～29）
0-11　：12時間制（0～11／PM0～PM11）

4. セット状態を解除する

Ⓐ ボタンを押します

➠ 点滅が止まります。

タイマーの使い方

6ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓒボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは１分単位で60分までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。
また、電子音に合わせて表示照明用ライトが５秒間点滅します。

※計測中、タイマー時間が１分以上のときは「分」と「秒」を表示します。タイマー時間が1分を切ったときは「秒」のみを表示します。

■ タイマー時間のセット

タイマーモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを押します



➡ Ⓐ ボタンを押すごとに１分ずつ進みます。

※Ⓐボタンは、押し続けると早送りします。

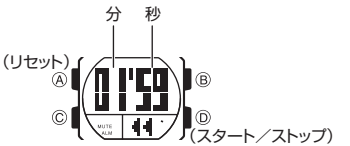
■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※計測は１秒単位で行ないます。



★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。

★計測を、一時、中断したいときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度Ⓓ ボタンを押してください。そのとき表示されている表示タイムに引き続き計測を始めます。

■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。
また、電子音に合わせて表示照明用ライトが5秒間点滅します。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

ストップウオッチの使い方

6ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

※計測中、計測時間が1分未満のときは「秒」のみを表示します。計測時間が1分以上になると「分」と「秒」を表示します。

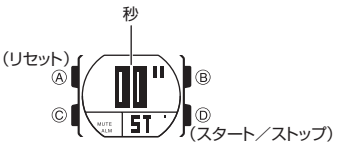
※計測をストップすると、「1/100秒の計測値」を表示します。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



★計測終了後 Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります(リセット)。

●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

＜積算計測＞

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

アラームの使い方

6ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓒボタンを押し、アラームモードにします。

設定した時刻になると10秒間の電子音が鳴ります。
また、電子音に合わせて表示照明用ライトが5秒間点滅します。

■アラーム時刻のセット

1. セット状態にする

アラームモードのとき

Ⓐボタンを約1秒間押し続けます

➡「時」が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。

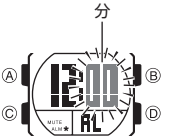
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

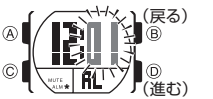


3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



手順*2.*～*3.*の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時刻表現（14ページ参照）」は、時刻モードでの「時刻表現」と同じ設定になります。
「午前」と「午後（PM点灯）」、「午前5時」と「29時」などの表現にご注意ください。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➟点滅が止まり、セット完了です。

■アラームのON／OFF設定

Ⓓ ボタンを押します

➟Ⓓ ボタンを押すごとに、アラームのON／OFFが切り替わります。

※アラームをONに設定すると、アラームが鳴るように設定され、アラームマークが点灯します。
なお、アラームマークは、OFFに設定するまで、他のモードに切り替えても点灯したままになり、アラームが鳴る設定になっていることを教えてくれます。

<アラーム表示>



アラームマーク

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

■アラーム音(電子音)を試聴する

アラームモードのセット中(表示点滅)以外の状態でⒹボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

デュアルタイムの合わせ方

6ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓒボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

デュアルタイムには、現在時刻とは別の時刻（海外旅行先の時刻など）をセットできます。

※デュアルタイムの「秒（表示はされません）」は、時刻モードの時刻の「秒」に連動しています。

※デュアルタイムの「時」および「分」は、時刻モードの時刻には連動していません。
時刻モードの時刻を修正した場合は、必要に応じてデュアルタイムの時刻を修正してください。

※デュアルタイムの「時刻表現」は、時刻モードでの「時刻表現（14ページ参照）」と同じ設定になります。

■デュアルタイムの合わせ方

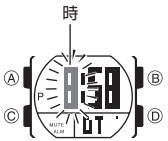
1. セット状態にする

デュアルタイムモードのとき

Ⓐボタンを約1秒間押し続けます

➡「時」が点滅します。

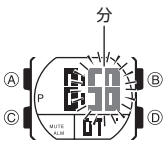
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. セット箇所を選ぶ

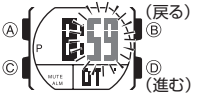
Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➟ Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順 *2.*～*3.* の操作を繰り返して、デュアルタイムをセットします。

※「時刻表現（14ページ参照）」は、時刻モードでの「時刻表現」と同じ設定になります。
「午前」と「午後（PM 点灯）」、「午前5時」と「29時」などの表現にご注意ください。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➟ 点滅が止まり、セット完了です。

時刻・カレンダーの合わせ方

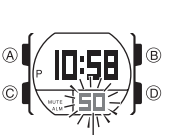
以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

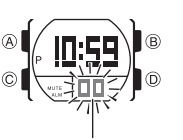


➡「秒」が点滅します。

※ セット状態で2〜3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

※ この操作を行なうと、「表示パターン」が切り替わってしまう場合があります。
操作終了後に、Ⓐ ボタンを押して使用する「表示パターン」に切り替えてください。

2. 時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します



➡「00 秒」からスタートします。

※ 秒が00〜29のときは切り捨てられ、30〜59のときは 1 分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。

3. セットを終わる

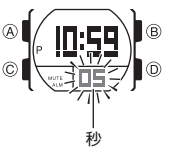
Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

■「時刻・カレンダー」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます



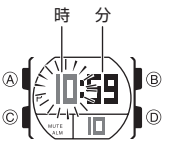
➡「秒」が点滅します。

※ セット状態で2〜3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

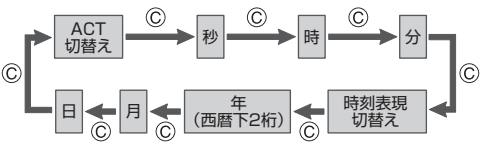
※ この操作を行なうと、「表示パターン」が切り替わってしまう場合があります。
操作終了後に、Ⓐ ボタンを押して使用する「表示パターン」に切り替えてください。

2. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒ ボタンを押します**



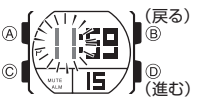
➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



※「時刻表現切替え」については、「時刻モードの『時刻表現』について」（14 ページ参照）をご覧ください。

※「ACT 切替え」については、「本機の『視覚的な演出』について」（10 ページ参照）をご覧ください。

b. **Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します**



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※「時刻表現（14ページ参照）」は、時刻モードでの「時刻表現」と同じ設定になります。
「午前」と「午後（PM点灯）」、「午前5時」と「29時」などの表現にご注意ください。

※「年」は2000～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精　　度：平均月差± 30 秒以内
表 示 方 式：液晶デジタル表示
基 本 機 能：時・分・秒
午前／午後(PM)／時刻表現(12時間制2種類/24時間制/30時間制)
月・日・曜日
フルオートカレンダー
(2000～2099年)
タイマー機能：セット単位＝1分　計測範囲＝60分
計測単位＝1秒　電子音＝10秒
タイムアップを10秒間の電子音で報知
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝59分59秒99（60分計）
計測機能＝通常計測、積算計測
アラーム機能：時刻アラーム（1本）
セット単位＝時・分
電子音＝10秒間
デュアルタイム機能：表示内容＝時・分
時／分＝時刻モードの時刻に非連動
秒＝時刻モードの時刻に連動

そ の 他：自動復帰機能
時刻表現（12時間制2種類/24時間制/30時間制）切替え
表示照明用ライト（LED）
モニターアラーム
操作音 ON/OFF 切替え
電子音の報音に合わせて表示照明用ライト点滅（5秒間）
デモ表示
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
ワンチップ CMOS-LSI
使用電池：CR1616　1個（電池別途販売）
電池寿命：約2年
（1日あたり、ライト1.5秒間、電子音10秒間、モード切替え操作24回、時計を見る（傾ける）動作100回を行なった場合）


memo


memo

ご使用上の注意

■防水性

● 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANTと表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
● 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
● 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは最寄りのカシオテクノリペアセンターにお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
● 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
● 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があり、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。
バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノリペアセンターにバンド交換（有償）をお申し付けください。

■温度

● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
● ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や＋40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

● 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

● 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
● 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

● シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂製品について

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
● 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
● 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
● バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
● 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
● スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
● 樹脂部品の交換は、最寄りのカシオテクノリペアセンターにお申し付けください。有償にて申し受けます。

■天然皮革・合成皮革バンドについて

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
● 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノリペアセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノリペアセンターにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います（防水検査は別途有償となります）。

■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、カシオテクノ・サービスステーションにおいても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションまたはカシオテクノお客様修理相談センターへお問い合わせください。